

婚



活

一期一会の出会い ♥ 育てる幸せもいかな

人生の一大転機である結婚。社会にとっても、世帯数や生産年齢人口など社会基盤を作っていく意味で重要なテーマですが、近年その結婚が大きく変容してきています。

平成17年の国勢調査によると、国内男性30代前半の未婚率は、1990年には32.6%でしたが2005年には47.1%と約半数となっています。これだけ未婚率が急上昇している背景には、単に結婚に対する個人の価値観の変化だけで片付けられる問題ではなく、働き方の多様化や、勤労者収入なども影響しているとの意見もあります。こうしたことを受け、多くの自治体では少子化対策、また「結婚したくてもできない」「出会う機会がない」といった声に応えるべく、“婚活”サポートが行政サービスとして始まっています。

そこで今月号では、行政の結婚支援事業の成功例として他県からも注目を集めている愛媛県が行う「えひめ結婚支援センター運営事業」を取り上げました。

愛媛県生きがい推進局 子育て支援課 子育て支援企画係 藤原担当係長にお話を伺いました。

Q： 愛媛県が婚活事業を始められたきっかけは何なのでしょう？

少子化進行の一因でもある未婚化・晩婚化は、ますます顕著になっています。今日、県内では、30歳代の男性3人に1人、女性の4人に1人が未婚であるほか、50歳の時点で一度も結婚したことのない人の割合（生涯未婚率）が上昇の一途をたどっています。平成17年の「市町知事陳情」を通して、県民の方から結婚対策の要望が上げられ、「男女の出会いの場を提供する」ことの検討が開始されました。一方、全国的にも少子化問題と結婚問題がクローズアップされていることから、愛媛県でも他県の婚活支援事業を調査し、平成20年から県の婚活事業をスタートさせました。

愛媛県の婚活事業のパンフレット『ついに県が!?やったケン!!!』は県民からぬ斬新なパンフレットと好評を得ていますが、県民のニーズにあわせて柔軟な発想で事業に取り組んでいます。

Q： 愛媛県の婚活事業は民間を巻き込んだ成功例として全国から注目されているとお聞きしますが、成功の要因は何であったと思われますか？

愛媛県では実施に当たり愛媛県法人会連合会に事業を委託しました。法人会には県内の「各企業、農業団体、漁業組合、NPO法人」などの団体が加入されており、婚活事業に対する理解と関心が得

られた事と、各団体の構成員の末端まで活動内容が浸透されていった事が大きいと感じています。特に「出会いの場」の提供では、イベント開催などで、ホテル・飲食店・旅行会社などから積極的な協力を頂けた事です。もう一つは、出会いの場でのカップルに対してイベントのお手伝いや交際フォローを担って頂いている「ボランティア推進員」の存在は非常に大きいものがあります。愛媛県の婚活事業は成功例として他県からの視察を受けていますが、どの県も月 20~25 回開催されるイベント開催の回数と「ボランティア推進員」の活躍に驚かれます。ある県議会では、視察時に、『えひめ結婚支援センター』の存在を聞くと殆どの方が「知っている」と答えられたそうで、その認知度の高さに驚き議会で報告したが信じてもらえず、再度愛媛に来て確認された様なこともありました。

Q： 今後の婚活事業の方針・方向性をお聞かせ下さい。

今年度からは、“愛結び”事業をはじめました。これは一対一のお見合い事業で、自分のプロフィールを登録した上でお気に入りの相手を探すスタイルです。また、県内に限定してはマッチングが上手く行かない事もあり、過疎・離島地域への対策という事で、対象者を県外まで広げていく取り組みを今年4月からスタートさせており、“愛CON”と称してUターン、Iターン婚活を働き掛けています。

これからも愛媛県法人会連合会の組織力やボランティアの皆様のご協力を頂きながら、事業の更なる充実を図っていきたくと考えています。

愛媛県法人会連合会の岩丸裕建事務局長にお話を伺いました。



Q： 結婚支援センターの概要・取り組みについて教えてください。

愛媛県法人会連合会が、少子化対策の一環として婚活をサポートするために平成20年11月に愛媛県からの委託を受け、えひめ結婚支援センターを設立しました。本事業の取り組みの内容の大きな柱としては男女の出会いの場を提供する事にあります。ホテルや、飲食店での出会い交流イベント、また近県の旅行ツアー等を企画・運営しています。それら情報をメールマガジンなどで随時案内しておりますので、会員登録者のかたには希望のイベントに申し込んで頂く流れになります。登録資格は20歳以上（学生は除く）独身で結婚の意志のある人。高齢の方の参加希望もあります。

結婚支援センター設立にあわせてスタートさせたメールマガジンには、当初の想定を大幅に上回る登録が寄せられ、県民の婚活に対するニーズの大きさを改めて感じ、現在までにイベントの開催回数も月20~25回と、県の取り組みとしてはかなり多い回数のイベントを実施していますが、参加者は場合によって抽選になる事もあります。

平成23年4月30日現在の累計では、イベント回数は592回、参加者人数で17,000人、カップルは2,218組、成婚まで至ったのは99組を把握しています。ただ、この成婚数は、本センターに報告いただいた数です。我々が行う事業自体は、「出会いイベント」であり、結婚に至った数はもっと増えるのではないかと思います。式場からも「結婚支援センターのイベントで知り合った方が式を挙げられましたよ！」との声も多くいただくので倍くらいになるのではないのでしょうか。

Q： 応援企業・協賛企業はどのような支援をされているのでしょうか？

「応援企業」は、独身男女に対し出会いの場を提供することが出来る企業・店舗・施設・NPO団体等で民間企業に限りません。それぞれの「応援企業」でイベントを企画し、イベント当日の進行等も実施してもらっています。イベントをきっかけに、その企業を知ってもらうことができるのでリピーターを増やす絶好のチャンスにもなりますし、参加者からのアンケート結果も返ってきます。時には辛辣な意見もありますが従業員自身の勉強になり、手応えも感じ、より成長に繋がるとの意見を頂いています。また参加者からの「ありがとう」の言葉が励みになると言われています。

「協賛企業」は、企業内の独身男女の方々に、メルマガ登録や出会いの場のイベント情報の周知と参加促進をしています。また登録者に対して Web 上のバナー広告で、自社の特色をアピールしていただけます。現在、応援企業は137社・協賛企業は783社となっています。

Q： 事業に取り組む中で、工夫されている事やご苦労されている事はありますか？

幅広い視点やコミュニケーションの知識を得てもらうため、セミナーを開催しています。婚活において第一印象の高感度アップは必須項目です。結婚するためには、やはり第一印象の55%は視覚からその人を判断します。自己啓発、自分も高め相手も高めることを結婚支援センターは目指しています。あなたは、第一印象に自信がありますか？婚活だけではなく、職場、あるいは日常生活においても勉強になる貴重なセミナーで、今まで25回開催しています。(カジュアルはどこまで？何を着て行けばいい？コミュニケーション力を付けるには？等の常識的なフォローが目的です)。

イベント後、カップルになった方へのフォローもしています。その事後フォローを担っているのがボランティア推進員です。推進員はイベントのお手伝いと交際フォローをしています。今はすっかり少なくなったお見合いを取り持つ(世話やき役)の代わりとなっています。気楽に何でも推進員が相談に乗っています。相談者の8割が男性です。おとなしい人が多くイベントでのカップル成立後「どの様にすればよいか分からない」「デートの誘い方が分からない」等の質問があり、「皆さん同じですよ」と伝えると安心されます。時には、職場の悩み相談に至る事もあります。推進員は交通費1000円のみ負担、後は無償でやっていただいております。大変貴重な存在です。このようなシステムは全国的にも珍しく、現在199名のボランティア推進員の方が活躍されています。

Q： 今後の事業活動での、新たな方針や計画についてお聞かせ下さい。

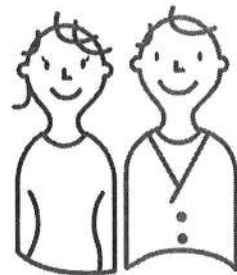
新たに1対1のお見合い事業として東・中・南予に愛結びコーナーを設置しました。従来行ってきたイベント事業では男女の意識の違いは大きく、ミスマッチが起こることも多くあります。例えば男性は真面目な方が多いのか、2回目でもプロポーズをしてしまう人もいます。かたや女性はゆっくり相手を知りたいと思っており、また求める条件が女性は高いことが多くあります。そのミスマッチから愛結び事業へと発展しました。“愛結び”(1対1)は職業、家族構成の他、任意項目として婿養子の希望や結婚後の同居希望等詳しい情報を事前登録します。相手のプロフィールが事前に詳しく分かるので“愛結び”は特に南予地域の女性に人気です。

また、県外独身者へ積極的にアプローチし、過疎・離島地域での婚活を働きかけていく方針です。

次に結婚支援センターで知り合い結婚されたK・Kさん（30代・愛媛県在住）の今の心境をご紹介します。

テレビ番組の中で愛媛県が主催する結婚支援事業が開設されるという内容の特集を母が見ていました。これが私が結婚支援センターを知ったはじまりでした。そしてメール会員に登録。伊予鉄トラベル主催の婚活バスツアー「出雲大社の旅」に参加させて頂きました。初めての婚活ということもあり、「このツアーで結婚相手を見つける！」というよりは「良い人に出会えるといいな」という気楽な気持ちで参加しました。

この日、私と同じように母親から県が支援している婚活があると聞き、参加していた主人と出会いました。印象は「誰とでもよく話をする人、気遣いの出来る人」だなと感じました。結果的に一回目のバスツアーで意気投合し、その後二人で会うようになりました。暫くは付き合うというより、互いを理解し合うといった事をしていたと記憶しています。結婚したいと思ってもなかなか出会いがなかったり、結婚をしたいと思っている人が見つからない方も多いと思います。まずイベントに気楽に参加し、いろんな人と話することから始めては如何でしょうか？このような出会いの場を設けてくださった支援センターのスタッフの方々には今でも本当に感謝しています。



ボランティア推進員 募集事前受付

ボランティアに参加してみようと思われる方は、ぜひ登録をお願いいたします。

応援企業及び協賛企業の募集

募集要領をご確認の上、たくさんのご応募をお待ちしています。

★お問い合わせ・お申込み★

えひめ結婚支援センター 愛媛県松山市大手町2丁目5番地7 愛媛中小企業指導センター内
TEL:089-941-7711(代) 089-933-5596(直) FAX:089-947-4251

<http://www.msc-ehime.jp/> 携帯 <http://www.msc-ehime.jp.m/>

お見舞い

この度の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

労福協の職員もボランティアとして、現地で震災復興のお手伝いをしております。



編集後記

今月号から編集を山・山コンビで担当します。結婚適齢期の息子を持つ親としては身近な事として、大変興味がある特集でした。最近の結婚を取り巻く環境が親世代とは随分変わったのだと感じました。(Y山)

愛媛県と結婚支援センターが上手く連携し登録者数、カップル数ともに右肩上がりになったのだと感じました。(S山)

愛媛県委託事業(平成23年度 労働者の声発信事業)

発行 社団法人 愛媛県労働者福祉協議会

〒790-0066 松山市宮田町125番地 愛媛県労福協会館 3階

TEL 089-946-2296 FAX 089-947-5616

メールアドレス e-roufuku@leo.e-catv.ne.jp